

徳州市概況



【基礎情報】(2024年)

- 人口: 553.63万人(省内9/16位)
- 面積: 10358km²(省内7位)
- GDP: 4047.73億元(省内10位)



【党委書記 田衛東】

1968年9月生まれ、荷澤出身
2021年4月～現職

(前任: 李猛・山東省政法委書記)



【市長 朱開国】

1973年2月生まれ、棗庄出身
2022年2月～現職

(前任: 楊洪濤・泰安市党委書記)

【歴史的エピソード】

- ◆歴史上、京杭大運河の重要な埠頭、交通の要所(九達天衢)と呼ばれた。
- ◆近代に入り河北省の管轄期を経て1994年に徳州市に昇格。
- ◆「徳」は黄河の古い別名に由来。「徳州」の名前は随朝から使用。

【現在の特徴】

- ◆環渤海経済圏、京津冀経済圏、黄河三角洲生態経済区の合流地。
- ◆伝統的に農業が盛んで、小麦やスイカ等が有名。
- ◆新エネルギー産業を重視、太陽光発電や風力発電に注力。郊外では多くの風車を見かける。
- ◆特産・名物: 徳州扒鶏、保店驢肉(ロバ)、楽陵金絲小棗は「徳州三宝」と呼ばれる。

【日本との関係】

- ◆在留邦人数: 2人(2024年10月現在)
- ◆友好都市: 新居浜市(1992年)
- ◆ODA: なし

【観光地】

◆蘇祿王墓

明の時代(1417年)、友好使節で中国訪問中のスールー王(現フィリピン国内)が当地で病死、朝廷が墳墓を建造させた。王妃や家来が墓守として当地に残った。



◆海島金山寺

中国北部で最大の寺院。隋代に建立され唐代に栄えたが、その後消失し、2003年に地元篤志家により再建された。



【グルメ】

◆徳州扒鶏

揚げた鶏を長時間煮込んだ料理。国家級無形遺産にも登録され、「天下第一鶏」と称えられている。

